

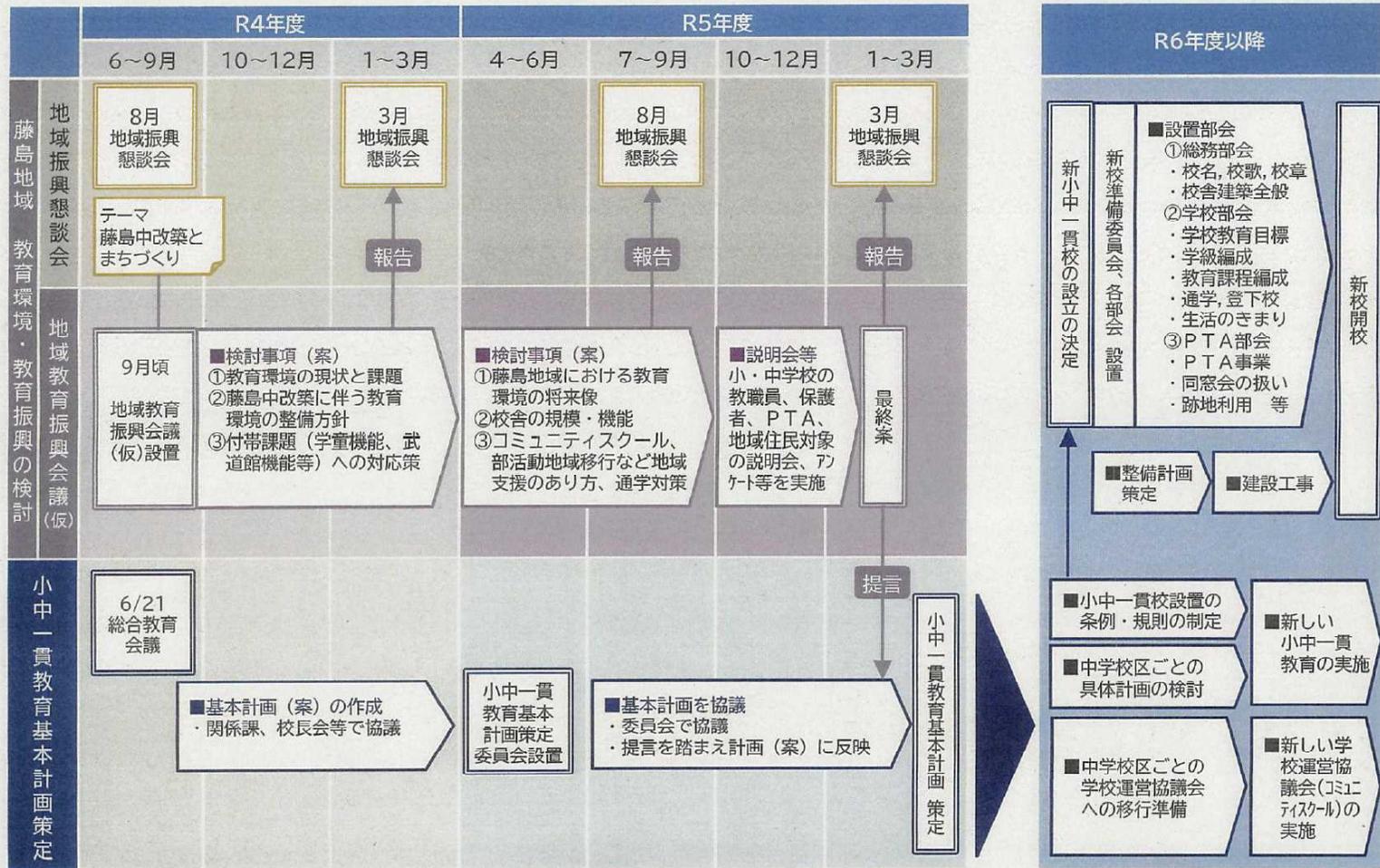
藤島地域に「小中一貫校」 教育振興会議設置し、来年度に最終案

令和4年度第1回藤島地域振興懇談会（会長・今野良和町内会長）が8月26日、藤島地区活動センターで開かれました。テーマは、「藤島中学校改築とまちづくり」についてで、皆川治市

長と布川敦教育長、教育委員会事務局も出席し説明しました。説明では、児童生徒数の減少と、中学校改築、及び周辺の文庫施設の課題をあげ、小中連携教育を進める中で、小中一貫校の設立の検討に進むと述べました。スケジュールは、9月頃に「藤島地域教育振興会議（仮）」を設置し、来年9月頃までに原案をまとめ、10月から説明会を実施し、翌3月まで最終案を決定したいとしています。

令和4年8月26日
藤島庁舎総務企画課
教育委員会
資料No.3別紙

「藤島地域振興懇談会」及び「藤島地域教育振興会議（仮）」等のスケジュール



村の四季

13

鈴木重雄（八色木）

■田植え

5月も中頃になると、タンポポも綿毛になり、道端にはシロツメクサが咲き始め、今は八色木の村の田んぼには見ることがなくなりましたが、黄色いサワオグルマ（沢小車・写真）の花が咲き始める。3、4年前までは羽黒山大鳥居の山ぎわの田んぼには咲いていたが、今は見ることはない。



農家の庭には、ツツジの花が真っ盛りの頃、朝早くからカッコウの鳴き声が聞こえる。今は、昔のように日数はかからないが、田植えは、農作業の中で最も人手のかかる作業であった。

私の子どもの頃はもちろん、田植機が普及されるまでは、猫の手も借りたほど忙しく大変な作業であった。小学校も3年生以上3日間の田植え休みがあった。子どもたちも手伝いしないと合わないからである。農家でない子どもは、友だちの家に手伝いに行っていた。

子どもたちの仕事は苗取りや、苗代から田んぼまで、苗をリヤカーや荷車に積んで運ぶ。高学年の子がリヤカーの梶棒をとり、1人は

梶棒をロープで引く。あとの子はリヤカーを押す。途中で道草を食うと、田植えの人たちが苗待ちをするので、子どもたちは遊んでいる暇はなく、急がなければならぬ。帰りはリヤカーに乗って帰る。水を落とす田んぼに植え型をつけるのは、くわ（かき）である。これは長く経験した人でないとなかなか上手に出来ない。



田植えと稲刈りの農繁期は、八色木公会堂に託児所を開いて、入学前の子どもを預かった。子どもたちは、おむつと哺乳瓶やおやつなどを持って母親に送られてくる。泣く子や騒ぐ子で保母さんは大変であったと思う。タバコ休みや昼休みを利用して、乳を飲ませに来るお母さんもいるので、母親の苦労が思いやられる。また、農協では共同炊事を公民館を借りて調理し、希望する家庭に配達した。

小中一貫校 中1の成長の飛躍ない

小中一貫教育の実証的検証

梅原利夫 山本由美 岡田有司 金子泰之 高坂康雅 佐貫浩

心理学による子ども意識調査と教育学による一貫校分析

小中一貫教育は、子どもたちにどんな影響をおよぼしたのか？

新自由主義的教育改革の目玉政策として導入され、全国に広がった小中一貫校制度。一貫校と非一貫校の調査研究結果の比較、心理学と教育学の科学的観点から導き出された、学校環境と子どもたちの発達の関係とは――

小中一貫教育20年の「成果」を検証した 両面的研究、その集大成

花伝社

小中一貫教育の導入の理由の第一が、「中一ギャップ」です。小学校と中学校の間にギャップがあるから、中学校に入るといじめや不登校が増えるという説明です。

中一ギャップの真実

それに対して、文部科学省国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センターは平成26年(2014)に、「中一ギャップの真実」という調査研究を報告しています。

中一になると突然何かが起きるとか、学校制度の違いが原因というイメージを抱くと、問題の所在を見誤り、間違った対応をしかねないとして、安易な用語の利用に警鐘を鳴らしています。中学校で顕在化するいじめや不登校の問題は、小学校の時に既に始まっていること。小学校と中学校の区分から生じる問題点の一つとして、思春期に落ち込む自尊心があること。小学校6年生の期待

全国に広がりました。県内では、新庄市立萩野学園が平成29年(2017)に初めて開校しました。

小中一貫教育20年の検証を詳しくまとめた報告も出されています。小中一貫校では、中一の成長の飛躍が生まれなくなっている、今度は「高1ギャップ」が乗り越えられず、高校中退率の高さに悩む、

施設一体型では遊びが制限され、遊ぶとうるさがられる小学生時代を過ごし、小学生の未熟さ・かわいさ・やんちゃが肯定されない世界となる、

一般の小学校では「最小学年」「小学校の顔」として尊重される6年生も、一貫校ではそういかなくなる、

出番が少なくなり、行事が楽しくない、

9年間も同じ学校に通い飽きぐるぐる等、問題は盛りだくさんです。

ひと 村山俊太郎・ひで夫妻

青山 崇

■俊太郎の「三段跳び」の大飛躍



俊太郎は、東沢尋常

高等小学校(山形市)の時期、教育実践、世界観で大転換をする。それは俊太郎の『3段跳び』ともいえる大飛躍であった。と息・

あれほど熱心だった童謡と別れ「北方教育」への道を歩むのである。第二は、雑誌『綴方生活』との出会いである。

創刊号は1929年10月。俊太郎は、巻頭『我等の使命』に感動したという。それは『綴方生活』は教育に於ける「生活」の重要性を主張する。生活重視は実に我等のスローガンである。」と結ばれる。

なお、翌年『綴方生活』の編集・発行は小砂丘忠義に。

小砂丘(笹岡)は、



■認めたんだ

それにしてもいたもんじゃありませんか。特定宗教と関係のあった人よ。今回人事異動した数は大臣と政府用人が73人だそうで、その44%程の32人が名前を上げられて釈明だ。昨日また一人見つかったのかナ。そのうち首相も・は無いか。

▲記者会見で宗教側は「共産主義に対峙する・その姿勢を持つ政治家とは、ともに手を携えて国づくりをしてきた」と言っているんだぜ。それを組織的には関係がないと茂木幹事長は言い切り、調査はしないと閣議決定までしたんだってサ。どっか変たぜ。

▲特定宗教が堂々と「手を携えて国づくりしてきた」と言っているのに反論はないの？反論もなくこの話を通すという事は、共に国づく

高知県で綴方教育をし、校長なども務めた。また俊太郎は、同誌同人に推挙された。

同人には、元日本共産党委員長・不破哲二(上田健二郎)の父・上田庄三郎もいた。

上田は高知から上京し生活綴方運動に参加大正自由教育運動を果敢に実践し、戦後は「日本教育新聞」編集局長などを務めた。



りをしてきたというところを認めるんだ。なら調査する必要はないはず。しかも岸信介首相から親子3代アベさまで仲良くしてきたというんだし。夫婦別姓に反対・は、特定宗教側の要求なんだと言うし。反共では一致しているし・と。

▲だったら、これまで何らかの関係があったと名前が出てきた人は、党の方針に従って「ああ・君も頑張っていたか」程度のことなんでしょうナ。新人の稲生さんを集会に連れて行った萩生田さんは当然の事をしていた事に。▲だからなんだか、アベさんと近いと言われてきた萩生田さんは、以後については手を切りますが明解ではないヨ。困ったじゃないですか首相。首相が求めた線で足並みが揃ってありません。内閣の支持率は下がるし。どうする？(石川)